

(法第10条第1項第7号関係様式例「翌事業年度の事業計画書」)

〇〇年度の事業計画書

定款の事業年度終期と一致しているか確認します。

2年目ですから、丸々1年間。事業年度が4月～3月ならば4/1から翌年3/31までとなります。

〇〇年〇〇月〇〇日から〇〇年〇〇月〇〇日まで

当該年度の事業について、どのように実施するのか具体的に記載します。

特定非営利活動法人〇〇〇〇

1 事業実施の方針

<記載例>

- ・昨年度の実態調査を踏まえ、具体的なニーズに見合った事業を行います。
- ・□□事業については、講座、研修会の開催回数を増やしていきます。
- ・広報の一環として、facebookを始めます。

等

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施予定日時 (B) 当該事業の実施予定場所 (C) 従事者の予定人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 予定人数	事業費の支出予算額 (単位：千円)
<記載例> 支援員養成事業	子育て支援員を養成するための講義や研修会を開催する。	(A) 月1回 (B) 佐賀県内 (C) 5人	(D) 佐賀県内に在住の子育て支援ボランティア活動に興味がある方 (E) 300人	1,080
子育て環境調査事業	子育てを取り巻く状況についてのアンケート調査を行い、対象者やニーズの把握を行う。	(A) 8月～9月 (B) 小城市内 (C) 3人	(D) 小城市民 (E) 100人	500
		(A) (B) (C)	(D) (E)	

定款に記載された事業名で統一し、全て記載してください。

事業の内容について具体的に記載してください。

実施する日付や頻度を記載します。

事業実施により利益を受ける対象者の範囲と予定人数を記載します。

ここに記載された予算額の合計が、活動予算書の特定非営利活動に係る事業費計の金額とほぼ一致することを確認してください。

特定非営利活動の他に「その他の事業」を定款に定めている場合は作成してください。

その他の事業を定めていない場合は、(2)の記載をすべて削除します。

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施予定日時 (B) 当該事業の実施予定場所 (C) 従事者の予定人数	事業費の 支出予算額 (単位：千円)
<記載例> 食品販売事業	地域の特産品を寄付つき商品として販売する。	(A) 法人ホームページで随時注文を受付 (B) 法人事務所 (C) 1人	522
		(A) (B) (C)	

定款に記載された事業名で統一し、全て記載してください。

事業の内容について具体的に記載してください。

実施する日付や頻度を記載します。

ここに記載された予算額の合計が、活動予算書のその他の事業に係る事業費計の金額とほぼ一致することを確認してください。

(備考)

- 1 設立当初の事業年度の事業計画書及び翌事業年度の事業計画書は、それぞれ別葉として作成する。
- 2 2の(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数、受益対象者の範囲及び予定人数並びに事業費の予算額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び予定人数」の欄には、具体的な受益対象者及び予定人数を記載する。
- 5 2の(2)には、定款上、「その他の事業」に関する事項を定めているものの、設立当初の事業年度にその他の事業を実施する予定がない場合、「実施予定なし」と記載する。